



令和7年度もグリーンボンドを継続発行します

- 兵庫県では、社会が大きく変化し、コロナ禍で様々な課題が浮き彫りとなる中で、県民が共に目指す姿を描く新しい将来ビジョン「ひょうごビジョン2050」を2022年3月に策定しました
- ビジョンでは、2050年の兵庫の姿を「誰もが希望を持って生きられる、一人ひとりの可能性が広がる『躍動する兵庫』」と位置づけ、「誰一人取り残さない」という国連の掲げるSDGs（持続可能な開発目標）の理念も目指す社会像に取り入れながら、取組を進めています
- こうした取組の一環として、グリーン化を推進する本県の施策を広くPRし、一層の機運醸成や施策の推進を図るとともに、県債の購入を通じた投資家の皆様の県政への参画を推進するため、令和7年度もSDGs債（グリーンボンド）を発行予定で7月の5年債に続く2本目となります。

HYOGO VISION 2050

 2050年の
兵庫の姿

 誰もが希望を持って生きられる
一人ひとりの可能性が広がる

包摂

挑戦

『躍動する兵庫』

躍動

 5つの
目指す社会

I 自分らしく生きられる社会

- ① 自由になる働き方
- ② 居場所のある社会
- ③ 世界へ広がる交流

II 新しいことに挑戦できる社会

- ④ みんなが学び続ける社会
- ⑤ わきあがる挑戦
- ⑥ わきたつ文化

III 誰も取り残されない社会

- ⑦ みんなが生きやすい地域
- ⑧ 安心して子育てできる社会
- ⑨ 安心して長生きできる社会

IV 自立した経済が息づく社会

- ⑩ 循環する地域経済
- ⑪ 進化する御食国
- ⑫ 活動を支える確かな基盤

V 生命の持続を先導する社会

- ⑬ カーボンニュートラルな暮らし
- ⑭ 分散して豊かに暮らす
- ⑮ 社会課題の解決に貢献する産業

令和7年度兵庫県グリーンボンド（10年債）の概要

年限	10年満期一括償還債
発行金額	50億円程度
表面利率	未定
条件決定	最速11月
主幹事	大和証券株式会社（事務）、SMBC日興証券株式会社、みずほ証券株式会社、BNPパリバ証券株式会社
第三者評価	本債券の発行に際し、資金使途などを明記した発行の枠組み（グリーンボンド・フレームワーク）を策定し、第三者機関である株式会社日本格付研究所(JCR)より、国際資本市場協会（ICMA）によるグリーンボンド原則2021及び環境省グリーンボンドガイドライン2024年版への適合性について、最上位である「Green1(F)」の評価を受けています。
購入対象	法人投資家
投資表明	投資表明をいただける投資家様については、本県ウェブサイト上でお名前をご紹介します

グリーンボンド・フレームワーク、インパクトレポートについて

- 兵庫県・兵庫県市町村共同（県民債）グリーンボンド・フレームワークは、グリーンボンドの充当事業選定のプロセス、資金管理方法、レポーティング方法等について定めています
- このフレームワークに基づき発行されたグリーンボンドの調達資金は、確実に環境改善効果が見込まれる事業に充当され、その事業の効果を投資家へ適切に情報公開いたします
- フレームワーク及び第三者評価、また過去発行分のインパクトレポートにつき、本県ホームページにて公開しています



◆兵庫県グリーンボンド発行の情報

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk21/pa03_000000022.html




グリーンボンド原則 事業区分	適格プロジェクト例
汚染防止及び抑制 再生可能エネルギー	下水汚泥広域処理場整備事業 <ul style="list-style-type: none"> 汚泥有効利用施設整備によるバイオガスの生成・下水汚泥の固形燃料化
エネルギー効率 再生可能エネルギー	県有施設等のLED化・空調設備の更新・太陽光発電設備の導入 <ul style="list-style-type: none"> トンネル照明・道路情報板のLED化 / 信号機のLED化 特別支援学校における空調設備・LED照明の整備、太陽光発電設備の導入
気候変動への適応	河川改修、治山・砂防・土砂対策、法面防災対策、ため池防災対策 <ul style="list-style-type: none"> 地域総合治水計画等に基づく治水対策の推進を目的とした河川改修 山地・保安林の災害復旧 / 土砂災害防止施設（治山ダム・砂防堰堤等）の整備 緊急輸送道路や被災した場合に社会的影響が大きい箇所における、豪雨災害時に備えた落石防護柵や落石防止ネットなどの整備 豪雨時の防災・減災対策を目的とした経年劣化による漏水や変形等が生じている農業用ため池の改修や廃止工事 高潮対策 <ul style="list-style-type: none"> 激甚化する高潮対策を目的とした防潮堤の嵩上げや胸壁整備 NEW農業生産基盤の整備 <ul style="list-style-type: none"> 豪雨時の防災・減災対策を目的とした排水機場、農業用排水路の整備
生物自然資源及び 土地利用に係る環境 持続型管理	森林・林道の整備 <ul style="list-style-type: none"> 土砂災害防止や温室効果ガスの吸収といった、森林の持つ多面的機能の高度発揮に必要な間伐等の実施 木材生産活動や森林の適正な維持・管理に必要な林道の整備 NEW環境創造型農業の推進 <ul style="list-style-type: none"> 環境創造型農業の推進にかかる施設整備 NEW漁業関連施設・河川環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> 魚礁漁場整備、増殖場造成 / 魚道の整備
陸上及び水生生物の 多様性の保全	コウノトリの生息環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ため池の浅瀬造成やビオトープなどコウノトリが生息できる環境づくり



下水汚泥広域処理場でのバイオガス生成
・下水汚泥の固形燃料化



信号機のLED化



治水対策の推進（河川改修）



有機農業アカデミー（仮称）の設置
開講予定時期：令和8年（2026）年4月



漁場の整備



コウノトリが生息できる
環境づくり